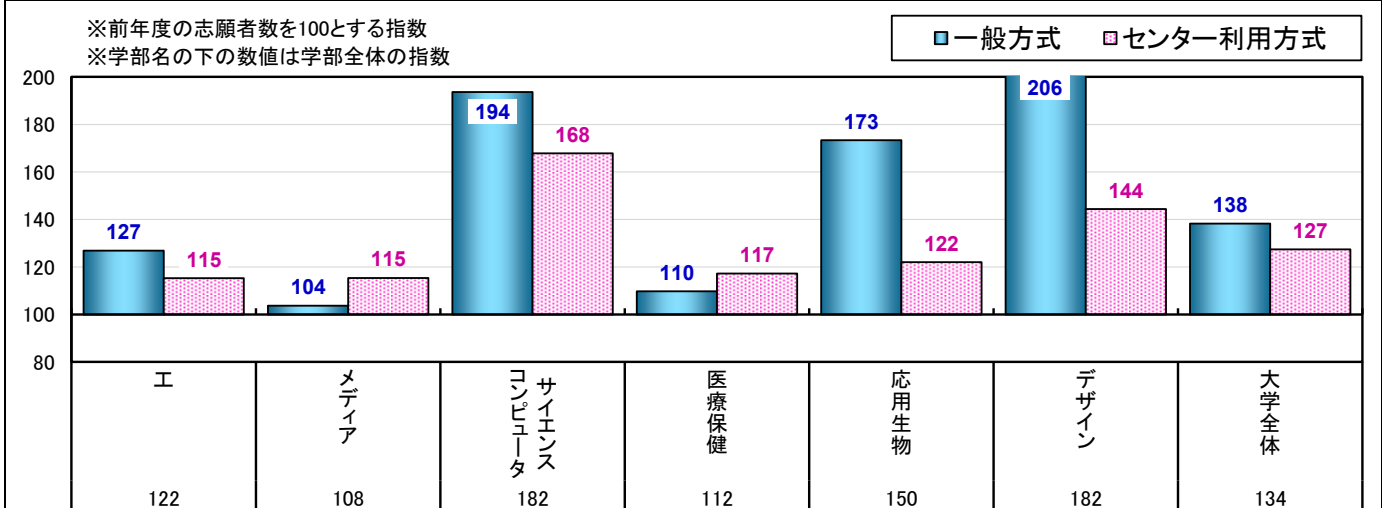


2020 年度入試状況分析【私立大】

東京工科大：3 学部での専攻新設で大幅増加

一般：+3,556 人 センター：+1,596 人



入試変更点 専攻新設：コンピュータサイエンス(コンピュータサイエンス/人工知能、先進情報)
応用生物(応用生物/食品・化粧品生、命科学・医薬品)
デザイン(デザイン/資格デザイン、工業デザイン)

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、5,152人(134)の大幅増加で2年ぶりに増加。理・工系人気の上昇に加え、専攻新設のコンピュータサイエンス(182)、デザイン(182)、応用生物(150)の大幅増加が影響。

<一般方式>

- 工(127)**は、大幅増加で学部再設置の2015年度以降5年連続増加で、志願者数は2015年度の約3.2倍増。3学科全てが増加し、(機械工)(136)、(電気電子工)(130)は大幅増加。
- メディア(104)**は、3年連続大幅増加の反動はなく、やや増加。
- コンピュータサイエンス(194)**は、専攻新設で学科一括募集から専攻別募集となり、ほぼ倍増で4年連続増加。専攻別の志願者数・志願倍率は、(コンピュータサイエンス/先進情報)が1,214人で30.4倍、(コンピュータサイエンス/人工知能)が1,121人で23.4倍。
- 医療保健(110)**は、2年ぶりに増加。学科別では、(作業療法)(143)、(看護)(126)が大幅増加。(臨床工)(92)、(臨床検査)(97)はいずれも2年連続減少。
- 応用生物(173)**は、専攻新設で学科一括募集から専攻別募集となり、大幅増加で7年ぶりに増加。専攻別の志願者数・志願倍率は、(応用生物/食品・化粧品)が928人で23.8倍、(応用生物/生命科学・医薬品)が878人で19.1倍。
- デザイン(206)**は、専攻新設で学科一括募集から専攻別募集となり、倍増以上で4年連続増加。専攻別の志願者数・志願倍率は、(デザイン/工業デザイン)が758人で37.9倍、(デザイン/視覚デザイン)が743人で24.0倍。

<センター利用方式>

- 工(115)**は、大幅増加で2年ぶりに増加。3学科全てが増加し、(応用化学)(150)は大幅増加。
- メディア(115)**は、大幅増加で2年連続増加。
- コンピュータサイエンス(168)**は、前年度大幅減少の反動に加え、専攻新設で学科一括募集から専攻別募集となったことで大幅増加。専攻別の志願者数・志願倍率は、(コンピュータサイエンス/先進情報)が829人で22.4倍、(コンピュータサイエンス/人工知能)が715人で15.9倍。
- 医療保健(117)**は、大幅増加で3年ぶりに増加。5学科全てが増加し、特に(作業療法)(147)、(臨床検査)(139)、(臨床工)(126)は大幅増加。
- 応用生物(122)**は、前年度大幅減少の反動に加え、専攻新設で学科一括募集から専攻別募集となったことで大幅増加。専攻別の志願者数・志願倍率は、(応用生物/食品・化粧品)が554人で16.3倍、(応用生物/生命科学・医薬品)が493人で12.0倍。
- デザイン(144)**は、前年度減少の反動に加え、専攻新設で学科一括募集から専攻別募集となったことで大幅増加。専攻別の志願者数・志願倍率は、(デザイン/工業デザイン)が377人で23.6倍、(デザイン/視覚デザイン)が313人で13.6倍。